



第2次高梁市地域公共交通網形成計画

高梁市新総合計画が目指す都市像や基本理念、また、市における公共交通の課題を踏まえ、計画が目指す将来像と基本方針を以下のとおりとし、地域公共交通網形成に取り組みます。

将来像

ひと・まち・自然にやさしい公共交通

基本方針

- 1 まちづくりと連携した持続可能な公共交通
- 2 まちの魅力を高め、人々の交流を促す公共交通
- 3 協働による公共交通の維持・発展

計画の区域

市内全域

計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間



第2次計画は市ホームページで公開しています

計画期間に段階的に行う事業

①公共交通運行事業

①バス事業者との連携協議による路線バスや生活福祉バスの運行路線の見直し

4条路線バスの見直し基準…

収支率30%未満

生活福祉バスの見直し基準…

1便当たりの利用者数3人未満

○路線バスは、見直し基準により利用実態を詳しく把握した上で低利用路線の廃止・減便、路線短縮などを行い、それによって生じる余剰な車両や乗務員などを高利用路線へ振り替え、路線バス全体としての機能を向上します。

○生活福祉バスは、見直し基準に従い、廃止を含めて路線見直しを行います。

○市街地循環線のダイヤを増便も含めて見直し、鉄道や路線バスを利用して中心市街地を訪れる人の移動性を向上します。

○JR西日本との連携・連絡体制を強化し乗り継ぎ環境を改善するとともに、JR西日本のダイヤ改正などに合わせて路線バスのダイヤ

を改正します。

○路線バスは、広域通勤・通学利用など地域間を結ぶ幹線交通として広域運行するとともに、備中高梁駅、成羽町成羽、川上町地頭の3つの交通拠点間を高頻度で運行し、生活福祉バス利用者や乗合タクシー利用者が中心市街地へ簡単に移動できるようにします。

②スクール専用バスの混乗化と効率的な運行

○スクール専用バスは、学区の見直しなどを考慮し、一般混乗化を進めます。

○路線バスや生活福祉バスと運行ルートが重複するスクール専用バスは、安全性の確保とともに利用実態や運行経費などを比較し、より効率的な運行を検討します。

③乗合タクシーの運行方法の変更

乗合タクシーの見直し基準…
1便当たりの利用者数1.5人未満

○乗合タクシーは、見直し基準に従い、廃止を含めた見直しを行います。

展開します。

③地域医療計画との連携

○地域医療計画と連携して医療機関への通院手段の確保について検討します。

④免許返納の促進

○運転免許自主返納への付加価値を設ける事業を検討します。

⑤交通拠点機能の向上

○成羽複合施設の完成に合わせ、成羽バスセンターの移設を令和2年度に行います。

○交通事業者は、停留所や待ち合い施設などのバリアフリーを含めた環境整備に努めます。

①モニタリングの実施

○路線バスなどの再編にあたっては、バス事業者が毎年定期的に行う乗降調査のほか、必要に応じて対象路線の個別調査を行い、利用状況を詳細に把握します。

④マネジメント系業務

○生活福祉バス、乗合タクシーは、日々の利用状況を把握し、必要に応じて運行日や運行区域などの見直しを行います。

○計画最終年度に住民アンケートを実施し、利用状況、ニーズ、満

○乗合タクシーの運行は、車を持たない高齢者などが通院や買い物などで利用することを前提に、曜日運行や路線バスが運行していない昼間の時間帯の運行を基本とします。運行区域は、路線バスが充実している中心市街地や高頻度運行路線沿線を除きます。

④災害に対する対応

○災害が起こった際の早期復旧や代替え輸送、タイムラインの作成などについて、運行事業者との協議を毎年度行います。

⑤次世代型公共交通の研究

○公共交通を利用したい人の割合を調査し、自動運転や予約システム、AIを中心とした次世代型の公共交通の導入について研究および情報収集を毎年度行います。

②交通弱者支援事業

①タクシーなどの活用に関する支援事業

○高齢者など交通弱者に対するタクシー利用助成制度について実施計画を策定し、実証期間を含め段階的に実施します。

○地域の活動組織と連携し、地域が主体となった乗合タクシーの運

行拡大を推進します。

○NPO法人などが行う公共交通空白地での有償運送に関する支援や、地域団体が運営するボランティア運送などへ技術的助言や協議などを行います。

③利用促進事業

①公共交通案内ホームページ・パンフレットの作成

○ホームページの充実を図り、公共交通の利用を促進します。

○鉄道とバス、乗合タクシーとの乗り継ぎ時刻を記載したパンフレットなどを住民や学生に配布し、公共交通の利用を促進します。

②観光施設との連携

○備中高梁駅と観光地との間や、観光地と観光地を結ぶ公共交通の導入に向け、ダイヤ、経路および運行形態などを検討します。

○交通事業者は、外国人向け表記の充実など、インバウンド対応や公共交通の魅力発信に努めます。

○市観光協会がホームページなどで提案している観光モデルコースと連携した交通サービス(例…雲海タクシー(備中松山城)など)を